

経営協議会（第1回）議事要旨

日時 平成24年4月20日（金）13時30分～15時08分
場所 ANAクラウンプラザホテル神戸 9階「リンデン」

審議に先立ち、学長から、配付資料2に基づき委員の紹介が行われた。
引き続き、前回（第4回）の議事要旨（案）の確認が行われ、原案のとおり了承された。

議 事

1 副議長等の指名について
学長から、副議長が指名された。

2 審議事項

(1) 学長選考会議委員の選出について

学長から、配付資料5に基づき、本会議の学外委員8人を学長選考会議委員として選出する旨の説明が行われ、了承された。

(2) 国立大学法人兵庫教育大学財務委員会規程の一部改正について

福田副学長から、配付資料6に基づき、財務委員会規程の一部改正について説明が行われ、原案のとおり了承された。また、学長から同改正に基づき、財務委員会委員及び評価委員会委員をそれぞれ指名したことについて報告が行われた。

2 報告事項

(1) 兵庫教育大学のミッションとビジョンについて

学長から、配付資料7-1～-3に基づき、前回の委員会での意見を基に修正したミッション及びビジョンを策定したことについて報告が行われた。

(2) 平成24年度大学経営の重点事項について

学長から、配付資料8に基づき、平成24年度大学経営の重点事項について報告が行われた。

委員による主な意見は次のとおり。（○：意見・質問，●：回答）

○ミッションとビジョンの関係からすると重点事項は、その実現に向けた具体的な取り組みが記載されると考える。教育活動の活性化の方策が記載されると、より外部の人にとっては分かりやすい。

○教員養成の修士レベル化の対応として、カリキュラム改革等が中心的な取り組みになると考えられる。その際、是非、卒業生及び修了生が10年後、20年後に教育現場でどのように力量を発揮しているか、卒業生・修了生の意見も検証し、反映したカリキュラムを作成していただきたい。

○検証、反映も大事であるが、大学教育は、10年、20年もすれば時代も変われば、文化も変わる、そういう変化に十分に対応できる基礎的な能力を育成すべきであると考え。よって、実証的な検査をする場合は、そういった変化にどのように対応したか、又はできたか。この部分について調査していただければと考える。

●これまで、卒業生、修了生に対する評価を、主として現場の校長先生に何うという形で調査をしてきた。この調査では、校長は、その卒業生、修了生しか見えていないため、兵庫教育大学の一般とすることはできないところが問題であった。しかし、最近、学部卒業段階を基準とした50項目のスタンダードを作成した。中身は、学び続ける教師になるための力量形成について中心的にまとめたものとなっている。今年は、卒業生、修了生に自己評価をしてもらう予定であり、大学で学んだことが、変化や新しいものを吸収しなければならない時に、どのように役立っているか、その調査の中で調べられるのではないかと考えている。

○現職教員の現場での課題解決の方策として、教育委員会が実施する研修があると考えられるが、同時に、大学が保有している知的・物的資源を積極的に活用

していくことが多大であると考え。卒業生、修了生のネットワークを活用されていると思うが、現職教員の問題意識や課題に、大学として対応できるようなネットワーク形成に向けて積極的に取り組まれてはどうか

- 本学は、大学院を中心に同窓会を支援する組織として、都道府県連携推進本部を設置している。推進本部の取り組みの一つにHyokyo-Netがあり、その中で、ネットを通じた支援をする取り組みを行っているが、利用率は低い状態である。しかし、以前の指導教員に直接指導を受けたり、共同研究の実施等で研究の活性化を図っており、連携は取れていると思う。

- (3) 平成24年度学部及び大学院（修士課程・専門職学位課程，博士課程）の入学者状況について

福本副学長から、配付資料9-1～-3に基づき、平成24年度学部及び大学院（修士課程・専門職学位課程，博士課程）の入学者状況について報告が行われた。

- (4) 大学院学校教育研究科指定校推薦制度の導入について

福田副学長から、配付資料10-1～-3に基づき、大学院学校教育研究科指定校推薦制度の導入について報告が行われた。

- (5) カレッジバスの運行について

福田副学長から、配付資料11に基づき、カレッジバスの運行について報告が行われた。

- (6) 教職キャリア開発センターの設置について

福本副学長から、配付資料12に基づき、教職キャリア開発センターを平成24年4月から開設したことについて報告が行われた。

—以 上—